



Automation that Inspires

2026年12月期 第2四半期（中間期）
（2026年1月1日 ～ 2026年6月30日）

決算説明資料

2026年8月6日

株式会社ダイフク [6383]

2026年12月期 中間期実績

- － 受注高、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益はいずれも中間期として過去最高。売上高、利益ともに上方修正した5月公表予想を上回る着地。
- － 受注高は半導体生産ライン向けを中心に引き続き好調に推移し、受注残高も過去最高を更新し7,400億円超に。
- － 増収効果と生産効率化・コストダウンの進展により、営業利益率は向上。

2026年12月期 業績予想

- － 半導体生産ライン向けを中心に良好な事業環境が継続していることから、受注高、売上高および各利益項目の通期業績予想を上方修正。いずれも過去最高の更新を見込む。あわせて、株主還元の充実を図るため、年間配当予想を90円に増配。

中東情勢を巡る 事業への影響

- － 同地域に生産・販売拠点を有しておらず、売上規模も僅少（前連結会計年度の連結売上高における構成比は0.1%未満）のため、事業への直接的な影響は限定的。
- － 原油価格の高騰や国際物流の混乱に伴う一部資材の供給制約およびコスト上昇による受注済案件への影響、ならびに世界経済の不透明感の高まりを受けたお客さまの投資計画の動向を注視。

2026年12月期 第2四半期累計（中間期）実績

受注高

4,401億円

前年同期比

+1,057億円

+31.6%

半導体生産ライン向けを中心に一般製造業・流通業および自動車生産ライン向けシステムも増加し、大きく伸長。

売上高

3,555億円

前年同期比

+290億円

+8.9%

豊富な前期末受注残高をベースに半導体生産ライン、空港向けシステムが増加し、増収。

営業利益

566億円

前年同期比

+55億円

+10.9%

半導体生産ライン向けシステムにおける増収と収益性の向上が牽引し、増益。

営業利益率

15.9%

前年同期比

+0.2pt

01

連結決算

(億円)	2025/12期H1	2026/12期H1	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	3,344	4,401	+1,057	+31.6%
売上高	3,264	3,555	+290	+8.9%
営業利益	511	566	+55	+10.9%
営業利益率	15.7%	15.9%	+0.2pt	—
経常利益	525	586	+61	+11.7%
親会社株主に帰属する中間純利益	376	431	+55	+14.7%
中間純利益率	11.5%	12.1%	+0.6pt	—
一株当たり中間純利益（円）	102.32	117.07	+14.75	+14.4%

為替レート（円）	2025/12期H1	2026/12期H1
米ドル	147.66	158.46
中国元	20.36	23.12
韓国ウォン	0.1038	0.1066
台湾ドル	4.66	5.02

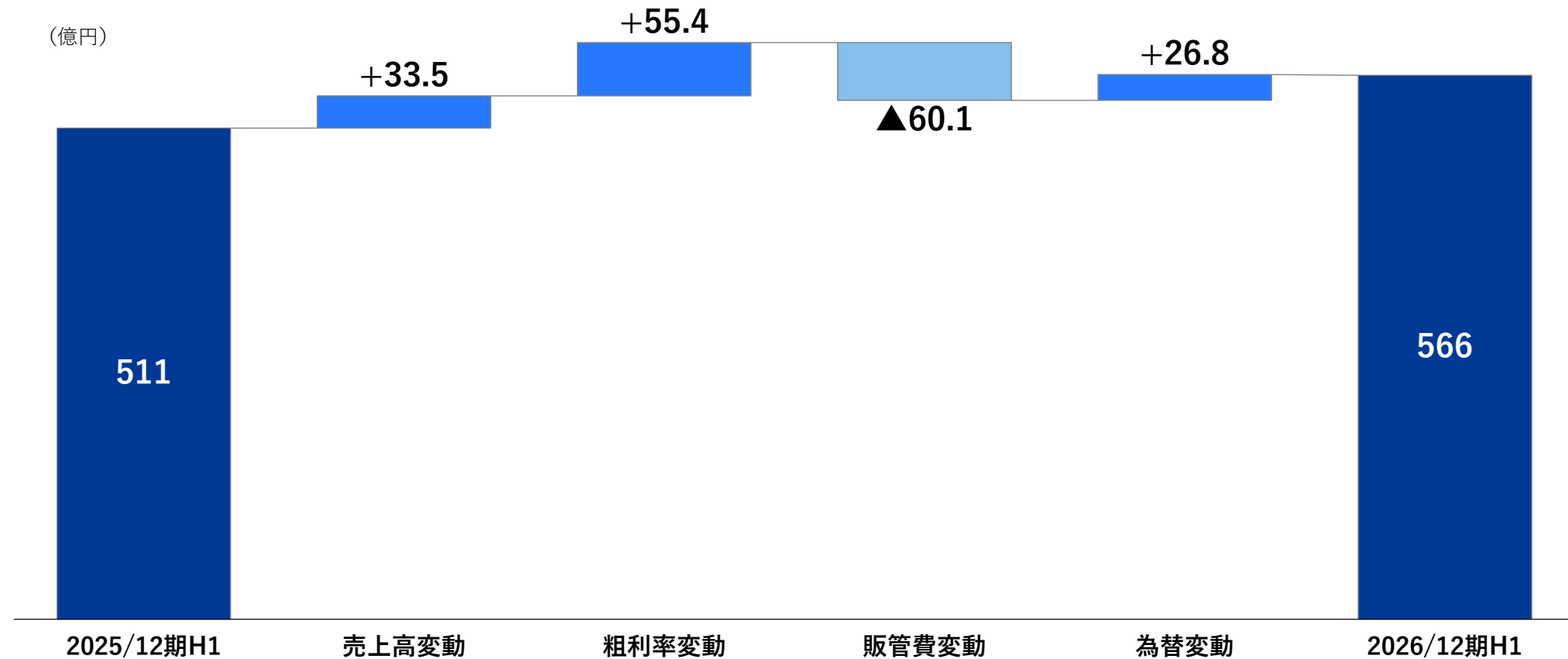
為替影響

受注高 約+181億円

売上高 約+153億円

営業利益 約+27億円

人的資本投資や研究開発強化など将来成長に向けた費用の増加を、増収効果と生産効率化・プロジェクト管理の改善による粗利率の向上で吸収。



ダイフク

ポイント
1

受注は、一般製造業・流通業、半導体生産ラインおよび自動車生産ライン向けシステムが大きく増加。売上は、前年同期を下回ったものの、セグメント利益は、営業外損益の改善等により増益。

Clean Factomation

ポイント
3

受注は、生成AI向け先端半導体投資の需要拡大により大きく増加。売上・セグメント利益は、豊富な前期末受注残高をベースに大きく増加。

Daifuku North America

ポイント
2

受注は、高水準を維持し、前年同期並み。売上は、前期末受注残高をベースに順調に推移し、増収。

その他

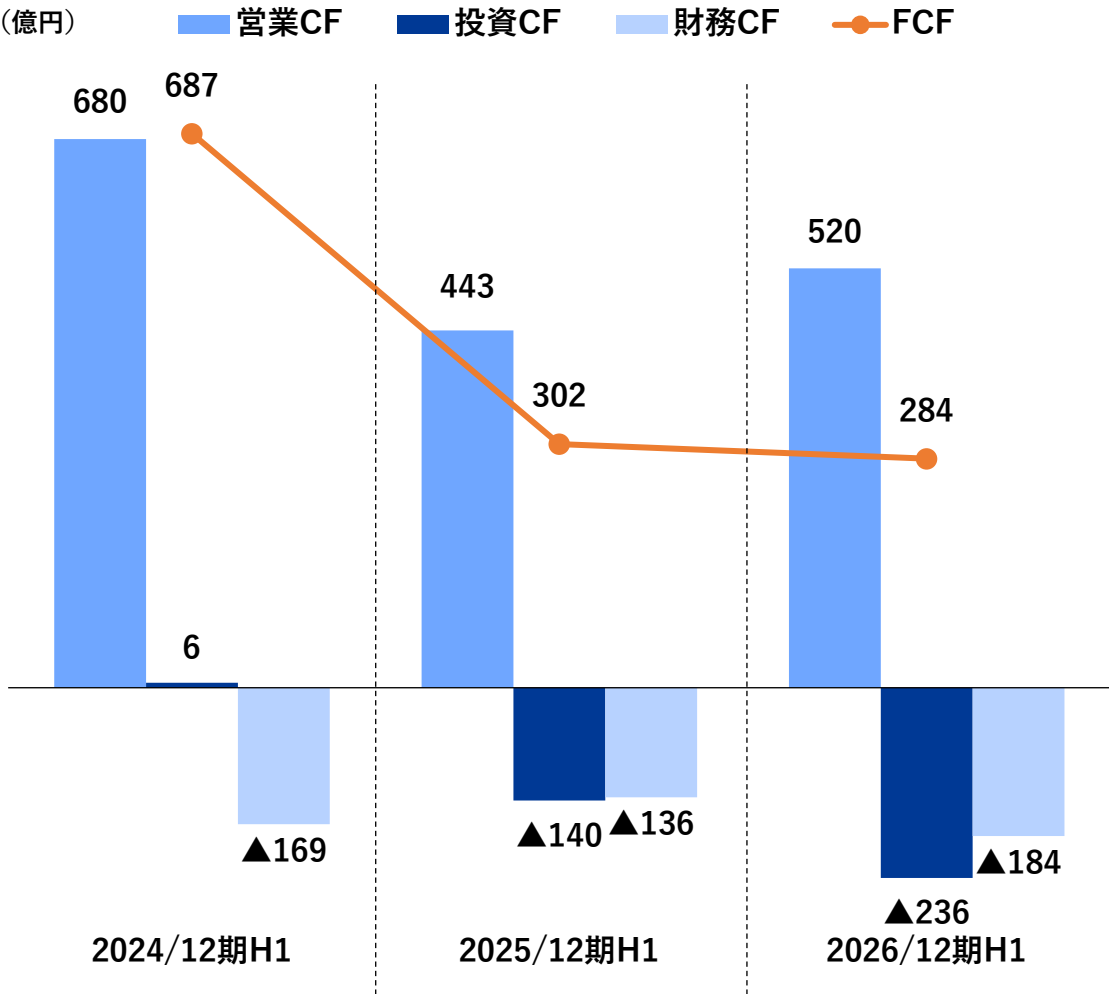
ポイント
4

受注は、半導体生産ライン向けシステムを中心に増加。売上・セグメント利益は、前期末受注残高をベースに同システムを中心に好調に推移し増収増益。

(億円)	受注高 (外部顧客からの受注高)			売上高 (外部顧客への売上高)			セグメント利益 (親会社株主に帰属する中間純利益)		
	2025/12期H1	2026/12期H1	増減額	2025/12期H1	2026/12期H1	増減額	2025/12期H1	2026/12期H1	増減額
ポイント 1 ダイフク	959	1,415	+455	1,343	1,126	▲216	340	371	+31
コンテック	87	137	+49	95	118	+22	3	6	+3
ポイント 2 Daifuku North America	1,135	1,135	▲0	809	907	+98	81	71	▲10
ポイント 3 Clean Factomation	355	640	+285	188	400	+212	15	73	+58
Daifuku (Suzhou) Cleanroom Automation	140	249	+108	210	204	▲6	57	59	+1
ポイント 4 その他	665	823	+158	621	793	+172	59	106	+47
連結調整等	—	—	—	▲3	4	+7	▲180	▲257	▲77
合計（調整後）	3,344	4,401	+1,057	3,264	3,555	+290	376	431	+55

連結貸借対照表、連結キャッシュ・フローの推移

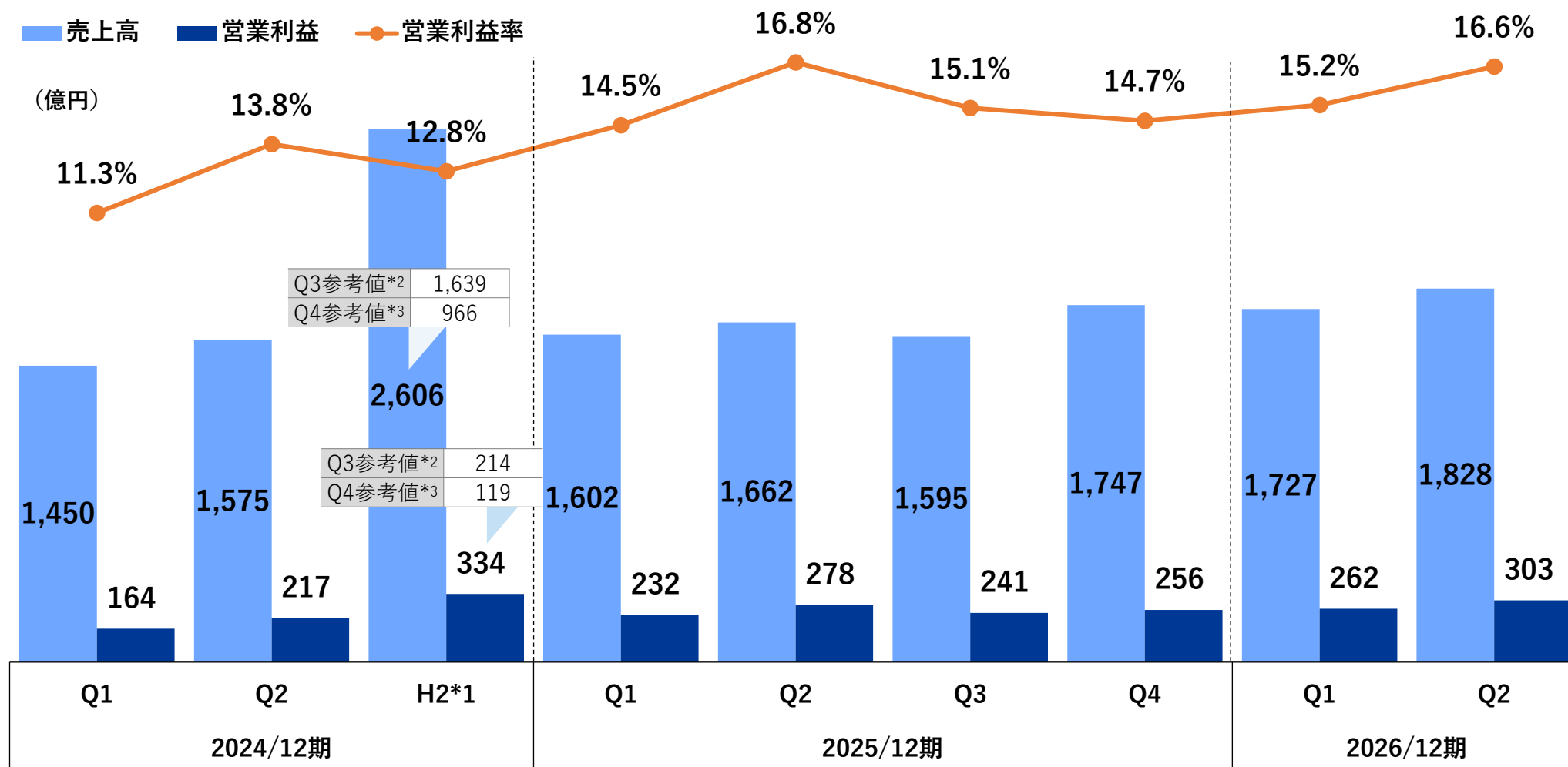
(億円)	2025年12月末	2026年6月末	増減額
流動資産	5,837	6,173	+335
現金及び預金	2,612	2,693	+81
売上債権	2,389	2,423	+33
棚卸資産	640	657	+17
その他	195	398	+203
固定資産	1,704	1,858	+154
資産合計	7,542	8,031	+489
流動負債	2,271	2,346	+74
仕入債務	828	771	▲56
契約負債	741	787	+45
その他	701	787	+85
固定負債	754	668	▲86
負債合計	3,026	3,014	▲11
株主資本	4,025	4,452	+426
純資産合計	4,515	5,016	+501
負債・純資産合計	7,542	8,031	+489



(億円)	受注高					売上高				
	2025/12期H1	構成比	2026/12期H1	構成比	増減額	2025/12期H1	構成比	2026/12期H1	構成比	増減額
日本	739	22.2%	1,008	22.9%	+269	934	28.6%	816	23.0%	▲117
海外	2,605	77.8%	3,393	77.1%	+787	2,334	71.4%	2,734	77.0%	+400
北米	1,171	35.0%	1,170	26.6%	▲1	854	26.1%	956	26.9%	+101
アジア	1,305	39.0%	2,063	46.9%	+758	1,296	39.7%	1,614	45.4%	+318
中国	344	10.3%	557	12.7%	+213	437	13.4%	498	14.0%	+61
韓国	392	11.7%	651	14.8%	+259	242	7.4%	424	11.9%	+182
台湾	455	13.6%	748	17.0%	+293	447	13.7%	466	13.1%	+18
その他	113	3.4%	105	2.4%	▲8	169	5.2%	225	6.4%	+56
欧州	67	2.0%	75	1.7%	+7	75	2.3%	86	2.4%	+10
中南米	7	0.2%	11	0.3%	+4	14	0.4%	16	0.5%	+1
その他	53	1.6%	71	1.6%	+18	93	2.9%	61	1.8%	▲32
小計	3,344	100.0%	4,401	100.0%	+1,057	3,268	100.0%	3,550	100.0%	+282
連結調整等	—	—	—	—	—	▲3	—	4	—	+7
合計	3,344	—	4,401	—	+1,057	3,264	—	3,555	—	+290

(億円)	受注高					売上高				
	2025/12期H1	構成比	2026/12期H1	構成比	増減額	2025/12期H1	構成比	2026/12期H1	構成比	増減額
自動車及び自動車部品	317	9.5%	433	9.8%	+116	408	12.5%	372	10.5%	▲35
エレクトロニクス	1,166	34.9%	2,032	46.2%	+865	1,262	38.5%	1,513	42.6%	+251
商業及び小売業	593	17.7%	635	14.4%	+42	686	21.0%	598	16.9%	▲87
運輸・倉庫	73	2.2%	116	2.6%	+42	148	4.5%	159	4.5%	+10
機械	45	1.4%	45	1.0%	+0	38	1.2%	43	1.2%	+5
化学・薬品	124	3.7%	118	2.7%	▲5	108	3.3%	132	3.7%	+23
食品	145	4.3%	99	2.3%	▲46	120	3.7%	132	3.7%	+12
鉄鋼・非鉄金属	21	0.7%	40	0.9%	+18	33	1.0%	22	0.6%	▲11
精密機器・印刷・事務機	31	0.9%	29	0.7%	▲1	24	0.9%	31	0.9%	+7
空港	711	21.3%	629	14.3%	▲82	353	10.8%	433	12.2%	+80
その他	113	3.4%	221	5.1%	+107	84	2.6%	111	3.2%	+26
小計	3,344	100.0%	4,401	100.0%	+1,057	3,268	100.0%	3,550	100.0%	+282
連結調整等	—	—	—	—	—	▲3	—	4	—	+7
合計	3,344	—	4,401	—	+1,057	3,264	—	3,555	—	+290

四半期売上高・営業利益の推移



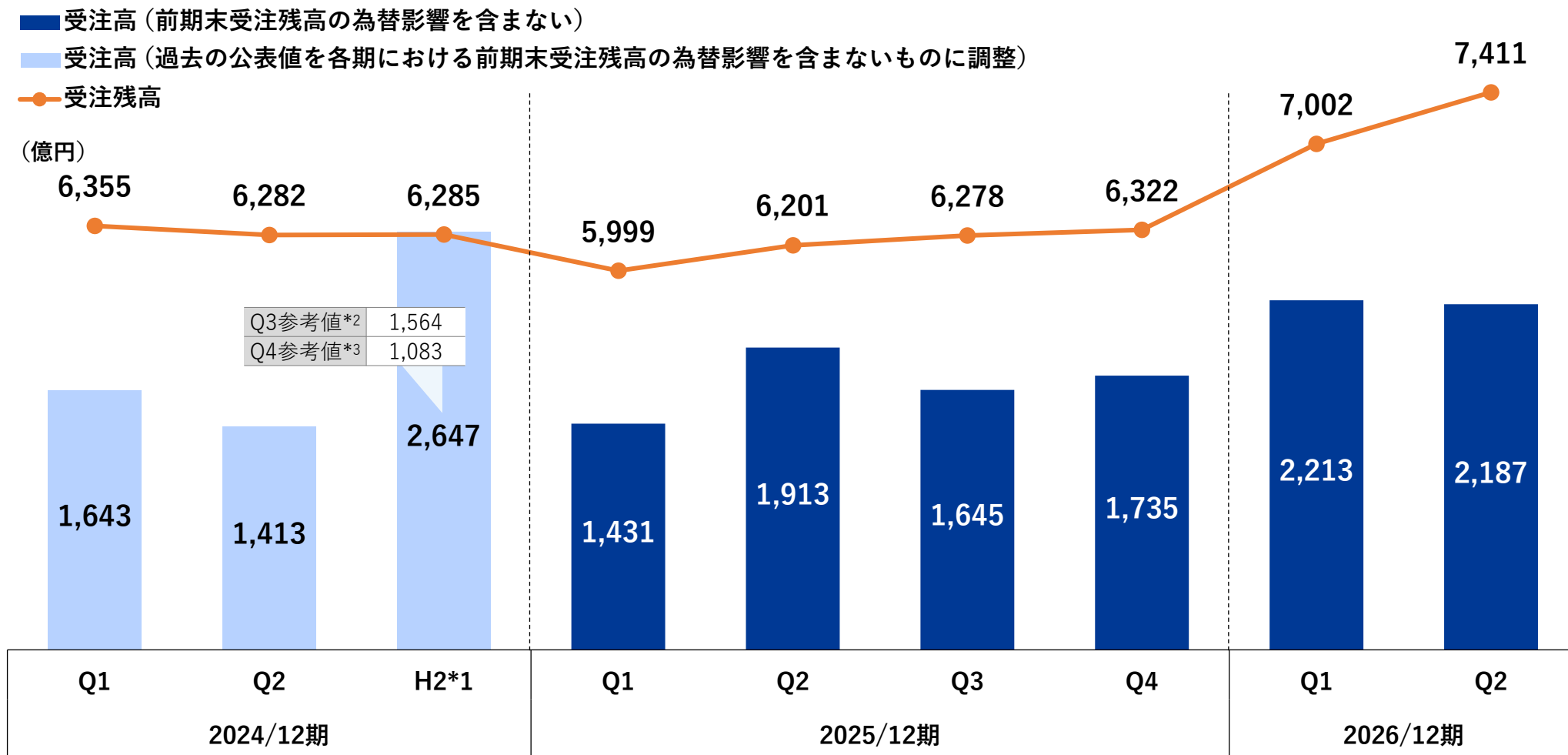
2024年12月期：決算期変更に伴う変則決算

*1 国内：2024年10～12月（3カ月）、海外：2024年7～12月（6カ月）の実績。

*2 国内：2024年10～12月（3カ月）、海外：2024年7～9月（3カ月）の参考値。

*3 海外：2024年10～12月（3カ月）の参考値。

四半期受注高・受注残高の推移

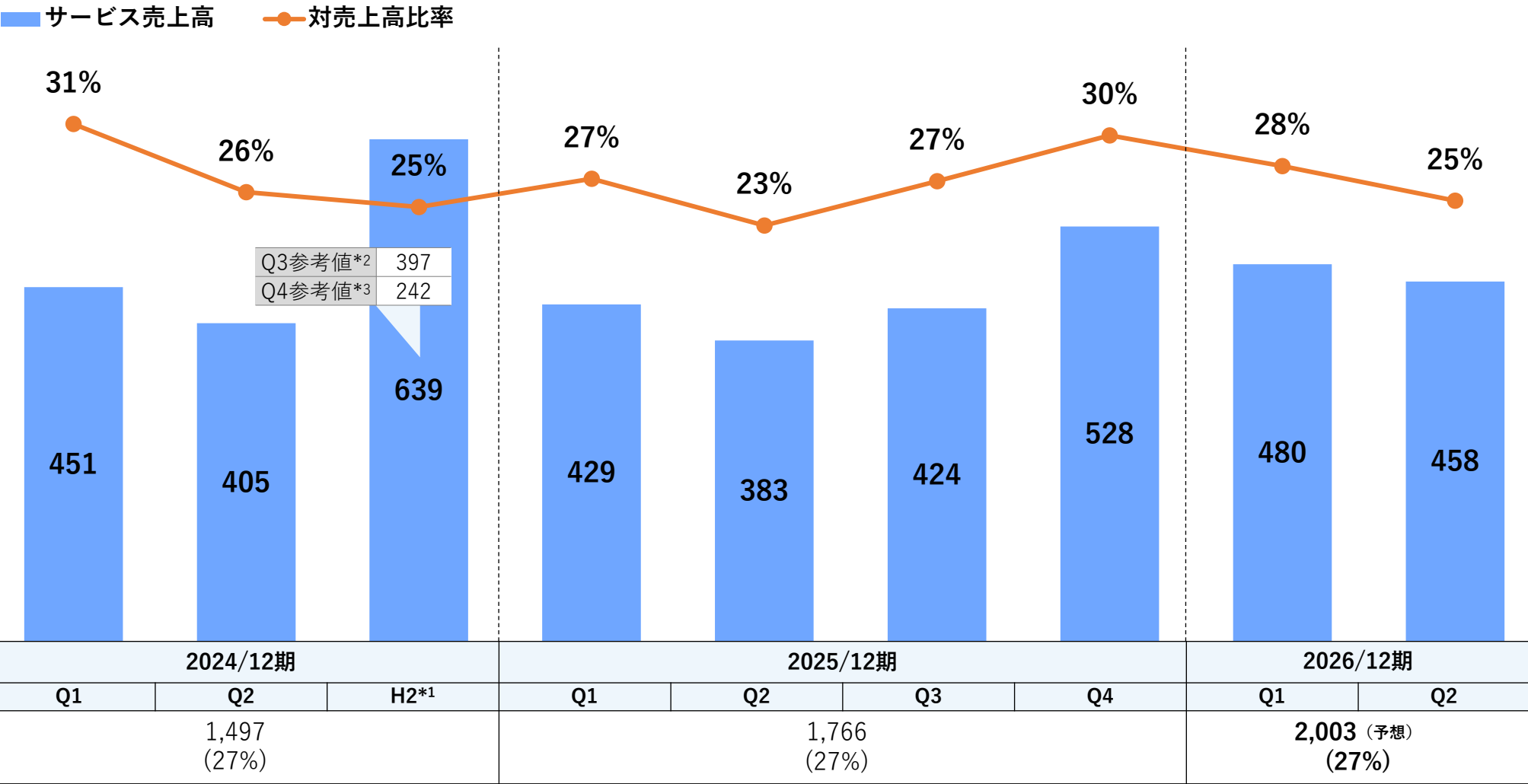


2024年12月期：決算期変更に伴う変則決算

*1 国内：2024年10～12月（3カ月）、海外：2024年7～12月（6カ月）の実績。

*2 国内：2024年10～12月（3カ月）、海外：2024年7～9月（3カ月）の参考値。

*3 海外：2024年10～12月（3カ月）の参考値。



2024年12月期：決算期変更に伴う変則決算
*1 国内：2024年10～12月（3カ月）、海外：2024年7～12月（6カ月）の実績。
*2 国内：2024年10～12月（3カ月）、海外：2024年7～9月（3カ月）の参考値。 *3 海外：2024年10～12月（3カ月）の参考値。

02

業績予想

2026年12月期 予想

受注高

通期

8,600～9,000億円

2月公表より

+800億円

前年同期比

+1,873～+2,273億円

+27.9～+33.8%

受注環境が良好に推移していることから上方修正。

売上高

通期

7,350億円

2月公表より

+350億円

前年同期比

+742億円

+11.2%

半導体生産ライン向けシステムにおいて、前期末受注残高をベースに案件が順調に進捗したことに加え、一部案件の売上計上が前倒しで推移したことから上方修正。

営業利益

通期

1,130億円

営業利益率 15.4%

2月公表より

+80億円

営業利益率
+0.4pt

前年同期比

+121億円

営業利益率
+0.1pt

+12.1%

増収効果に加え、生産効率化の進展やプロジェクト管理の改善等により収益性が向上したことから上方修正。

(億円)	2025/12期	2026/12期 予想				
	通期 [a]	通期			前年同期比 (c-a)	
		2/12公表 [b]	8/6公表 [c]	前回比 (c-b)	増減額	増減率
受注高	6,726	7,800~ 8,200	8,600~ 9,000	+800	+1,873~ +2,273	+27.9%~ +33.8%
売上高	6,607	7,000	7,350	+350	+742	+11.2%
営業利益	1,008	1,050	1,130	+80	+121	+12.1%
営業利益率	15.3%	15.0%	15.4%	+0.4pt	+0.1pt	－
経常利益	1,046	1,085	1,165	+80	+118	+11.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	780	800	865	+65	+84	+10.8%
当期純利益率	11.8%	11.4%	11.8%	+0.4pt	0.0pt	－
一株当たり当期純利益 (円)	212.39	217.57	233.55	+15.98	+21.16	+10.0%

2026年12月期の為替レートについては、対米ドル150円の期初前提を158円に見直し。為替前提見直しによる通期連結業績予想への影響額は、受注高で300億円、売上高で240億円、営業利益で40億円の増加。

ポイント
1

2026/12期の中間配当は、期初予定の36円から4円増配し、40円に。

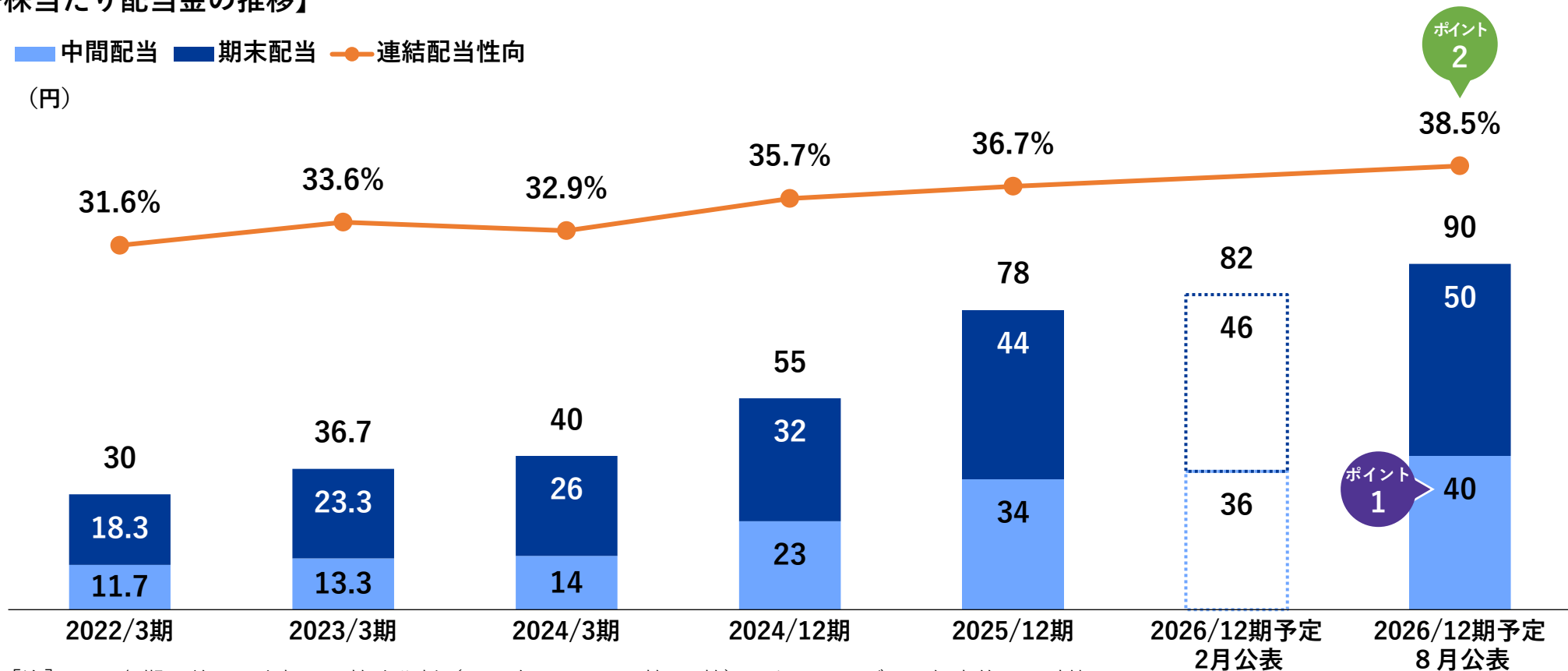
ポイント
2

2026/12期の年間配当は期初予定から8円増配の90円を予定。配当性向は前期比1.8ポイント増加の38.5%へ。

【一株当たり配当金の推移】

■ 中間配当 ■ 期末配当 ● 連結配当性向

(円)



[注] 2023/3期以前の配当額は、株式分割（2023年4月1日、1株→3株）からさかのぼって便宜的に再計算。

03

トピックス

ダイフクレポート2026



2026年7月、統合報告書「ダイフクレポート2026」を発行しました。本書では、長期ビジョン「Driving Innovative Impact 2030」の実現に向けた価値創造ストーリーを紹介しています。

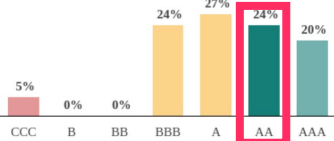
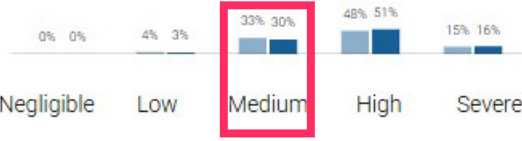
詳細はこちら www.daifuku.com/jp/ir/library/annualreport

サステナビリティ報告2026



2026年7月、「サステナビリティ報告2026」を発行しました。本書は、サステナビリティに関するウェブサイトの情報開示をPDFにまとめたものです。

詳細はこちら www.daifuku.com/jp/sustainability/report

評価機関	名称（採用銘柄）	評価・スコア		
		2025年	2026年	当社の位置
MSCI (米国)	ESG Rating 最高AAA (MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数)	AA	AA 2026年3月時点	Industrial Machineryセクター上位44%以内 
FTSE (英国)	ESG Rating 最高5.0 (FTSE4Good Index Series) (FTSE Blossom Japan Index/Sector Relative Index)	4.0	4.0 2025年12月時点	日本企業 1,383社中 139位 
Sustainalytics (オランダ)	ESG Risk Rating Negligible (0-10)/Low (10-20)/Medium (20-30)/ High (30-40)/Severe (40+) の5カテゴリー	23.4 (Medium Risk)	23.0 (Medium Risk) 2026年7月時点	Machineryセクター564社中 62番目 
CDP (英国)	CDP 気候変動 最高A	A	A 2025年12月時点	—
	CDP 水セキュリティ 最高A	A-	A- 2025年12月時点	—

当社は、アジア最大級の物流・ロジスティクス総合展示会「国際物流総合展2026」に出展します。「Robotics in Motion ～動き出すロボティクスの未来～」をテーマに、Roboticsを軸としたダイフクが目指す「完全無人化」に向けた自動化ソリューションを紹介します。実機デモンストレーションと大型スクリーンを組み合わせたプレゼンテーションを通じて、ダイフクが描く未来の物流をぜひ会場でご体感ください。

国際物流総合展2026

会期 2026年9月8日（火）～11日（金）
10:00～17:00

会場 東京ビッグサイト

弊社ブース 東3ホール E3-B20

来場お申込み 公式ウェブサイトから事前登録をお願いします。
www.logis-tech-tokyo.gr.jp/ltt



当社ブースイメージ



Automation that Inspires

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。